ASIAN GAMES NEWS

第20回アジア競技大会（2026/愛知・名古屋）大会通信

VOL. 02

2020.03

アジア最大のスポーツの祭典を象徴する大会エンブレムが決定！

全国40都道府県からご応募いただいた884点の作品の中から大会エンブレムが決定しました。

20th Asian Games
Aichi-Nagoya 2026

大会エンブレム趣旨

スポーツのもつ躍動感を自由な曲線で描いています。さん然と輝く太陽(OCAシンボル)と、紫・金・緑で作り出される中央の直線は、人々が「ひとつ」に集い、未来へ向かう様を表しています。愛知・名古屋らしく、愛知県の花「カキツバタ」の紫と、「名古屋城」の「しゃちほこ」の金、そして、愛知万博、COP10、ESDユネスコ世界会議を通じて培われた環境への想いを表す緑で彩っています。また、紫と中央の直線は「アジア（Asia）」と「愛知（Aichi）」のAを、紫と金は「名古屋（Nagoya）」のNをかたどっています。

大会エンブレム制作者 宮下 浩さんコメント

デザインやものづくりにおいては、常に普遍性というものを意識し、人の記憶に留まるようシンプルで力強い形づくりや色遣いを心がけています。選手やサポーターの方々一人ひとりの力が生かされ、かつ、このエンブレムが大会成功の一助となればと思っております。また、開催時2026年においても、輝いている存在であることを望んでおります。

1961年、愛知県岡崎市出身。愛知県立芸術大学大学院美術研究科デザイン専攻修了。愛知産業大学造形学部デザイン学科准教授、グラフィックデザイナー。主な受賞歴に、世界ポスタートリエンナーレトヤマ'97／'09 入選、おいしい東北パッケージデザイン展2017 審査委員賞（福島治賞）等。

第20回アジア競技大会 エンブレム選定委員会 廣村 正彰 選定委員長コメント

アジア競技大会のような国際的なスポーツイベントでは、国や地域を代表して、人々に感動や交流の輪、未来への希望を紡ぎます。愛知・名古屋の魅力である環境への想いと伝統文化をこの大会エンブレムのクリエイティビティによって世界中の人々に広く知ってもらうことができると信じ、選定に至りました。今後、多種多様な交流活動の中心に、このエンブレムが存在することを期待しています。

大会エンブレム発表の様子

第20回アジア競技大会（2026/愛知・名古屋）開催期間：2026年9月19日（土）～10月4日（日）